

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.22〉

〈新川④ 散策マップ〉

国道190号や産業道路、浜ハイパスなどが横断し、車通りの多い市の中心に位置する新川地区。宇部市発展の歴史が垣間見える数多くの旧跡が残る地区内を、新川ふれあいセンター(①)を発着点とした約6キロのコースで2時間ほどかけて散策した。



市発展の足跡や県内最古の庭園

渡辺祐策ゆかりの地巡る

ふれあいセンターを出たすぐそばには、市の文化活動の拠点となっている記念会館(②)がある。渡辺祐策の遺徳を顕彰する会館前の公園には豊かな緑が広がり、近隣住民の憩いの場にもなっている。

会館前の歩道橋を渡り、山口大医学部を右手に小串通りを北へ進む。そのまま真つすぐ県道琴芝際波線を登り、左手の滑坂(なめらざか)にあ



360度見渡せる展望台

る住宅地の一角に隠れた小串の地藏様(③)にお参り。県道を進んだ先の小路を入り、裏手から宗隣寺(④)へ。県内最古の池泉式庭園とされる龍心庭の風景をゆつくり眺めて休憩するのもいい。宇部変電所をぐるりと

回り、桃山の丘陵の頂上付近にある旧桃山一号配水池監視廊(⑤)を目指す。同所には宇部市街を360度見渡せる展望台があり、休日などに開放されることもあるという。そこから少し下った所にあるのが桃山配水計量室「六角堂」(⑥)写真。実際の建物は八角形という謎も。市の近代化を象徴する最古の水道施設の一つだ。

策の生家である松蔵園(⑨)を訪れた。ゆかりの品々が展示されている日本家屋は風情ある庭に囲まれ、春にはフジや桜が咲き誇る。最後に立ち寄るのは旧市立図書館(⑩)。1991年に現在の図書館が建設されるまで、昭和の時代から長く市民に親しまれた。現在は閉鎖された中に入ることはできないが、当時の姿をそのまま残したレトロな雰囲気魅力的だ。

桃山通りを下り切り、江戸時代には殿様のかごの往来があった殿様道(⑦)と呼ばれる旧道小串往還道跡、周辺が桜の名所となっている黄幡街区公園(⑧)を通過して

「この他にも地区内には、劇場版エヴァンゲリオン」の聖地となったJR宇部新川駅、40点以上の彫刻が点在する真綿川沿いなど、見どころがたくさん。のんびり歩きながら、自然や芸術、歴史などさまざまな表情を見せる新川を楽しんで。次回は岬地区。23日スタート。